

モーターエクスプレス



初の紋付き袴姿「思ったよりイケてたかも」

紋付き袴姿で参拝した中上貴晶。手には愛用のヘルメットも。千葉県船橋市で(いずれも遠藤智撮影)



◆中上貴晶 19年成績◆

グランプリ	G	決勝
①カタル	9	9位
②アルゼンチン	9	7位
③アメリカズ	15	10位
④スペイン	8	9位
⑤フランス	7	18周R
⑥イタリア	10	5位
⑦カタルーニャ	16	8位
⑧オランダ	8	4周R
⑨ドイツ	10	14位
⑩チェコ	13	9位
⑪オーストリア	6	11位
⑫イギリス	10	17位
⑬サンマリノ	10	18位
⑭アラゴン	13	10位
⑮タイ	14	10位
⑯日本	13	16位
⑰オーストラリア		欠場
⑱マレーシア		〃
⑲バレンシア		〃

ランキング13位/74ポイント
※G=グリッド、R=リタイア

左手には愛用のヘルメット。だが中上は、いつものレーシングスーツを脱ぎ、日本のエースとしての成長を紋付き袴姿で祈願。伝統を誇る、すがすがしい古社で気持ちを新たにしたい。

「紋付き袴姿は生まれて初めて。成人式でも着なかった。似合うかな、と心配だったけど、思ったよりイケてたかも。正直、身も心もすごく引き締まる感じ。新たな1年の良いスタートが切れたと思う」

今年もLCRホンダから参戦。レプソルホンダのマルク・マルケス(スペイン)が、昨年12勝を挙げた王者に輝いたマシンRC213Vを駆る。「昨年はマルクの独壇場

順位にこだわらる

最高峰クラス2年目の中上は、常にトップ10を目標とし、予選6番手、決勝5位をベストに、ほぼ目標を達成した。1年は全く歯が立たなかった同僚カル・クラッチロ(英国)に先行するよりも多く、限界ギリギリの走りチームの信頼を勝ち取った。ライダーとして、一つのターニング

船橋大神宮参拝 2020年の飛躍誓う

3年目 中上 狙うは初表彰台&初V

ロードレース世界選手権(WGP)でモトGPクラス3年目を迎えるLCRホンダの中上貴晶(27)が、初めて紋付き袴(はかま)を着て、千葉県船橋市の古社、船橋大神宮に参拝。2020年の飛躍を誓った。昨年は右肩の負傷のため終盤3戦を欠場し、5位を最高位にランキング13位だった。今年は常にトップ5を目標に掲げ、初表彰台&初優勝を狙う。

リハビリは順調

〇…千葉県出身の中上は現在、船橋市の病院へリハビリに通いながら、肩甲骨回りの筋力回復トレーニングにも余念がない。船橋大神宮は病院からも近く、今回の参拝がとても楽しかった様子。「最終戦が終わってランキング表彰式に出ることになったら、ぜひ紋付き袴姿で出たい!」と意気込んだ。

ポイントになったとの自覚がある。

「今年は、昨年の予選ベストと決勝ベストを常にキープしたい。そうす

れば、必ず表彰台のチャンスが見えてくる。今は常に前進だけを考える立場。ランキングを意識せず(毎戦の)順位にこだわっていき



愛車ホンダCR-Vとともに